日刊建設工業新聞（2026 年 10 月 22 日付 12 面掲載）

【オリコンサルグローバル　第 9 回ジャパコン国際賞・３　国道三号線スンバ橋架け替え計画など】

（＜建設・開発プロジェクト部門＞オリコンサルグローバル　次世代軽量軌道交通システム建設工事（インドネシア））

建設・開発プロジェクト部門

次世代軽量軌道交通システム建設工事

ジャカルタ特別州と西ジャワ州を結ぶ全長44.41㎞、17駅、車両基地12haの次世代型路面電車（ＬＲＴ）建設事業。設計はフランスとドイツ、運用・保守（Ｏ＆Ｍ）は英国が支援するなど多国籍企業が担った。オリエンタルコンサルタンツグローバルは土木・鉄道システムの設計精査から施工・品質・安全管理、支払い・契約管理、試運転・性能確認までプロジェクト全体の管理・監督を統括。無人運転システムの実現に貢献した。

半径１１５ｍの急曲線で世界最長級１４８ｍの鉄道橋を、片持ち張り出し工法で施工し無事故で接合を達成

自国予算と多国籍銀行融資による非政府開発援助（ＯＤＡ）事業。同社は非ＦＩＤＩＣ（国際コンサルティング・エンジニアリング連盟）契約下でＦＩＤＩＣに準拠した契約管理とリスクマネジメントを行った。

日本基準による免震構造と運行制御を組み合わせ、先進的な地震安全対策を実現。追加試験や地盤設計変更、契約管理を主導し、工期確保と工事完成に寄与した。現地で約120人を雇用。設計、施工検査、契約管理など幅広い分野で現地人材を登用し、ＯＪＴを通じて鉄道技術を移転した。

概要

- ■工期＝2015年９月～23年８月
- ■発注者＝運輸鉄道総局ＤＧＲ
- ■設計者・施工者＝アデイカルヤ（インドネシア国営会社）
- ■管理運営者＝インドネシア国営鉄道